

どうやって選んだらいいの？

投票はテストじゃない。だから“正解”はない。

みんなが選んでいる人じゃなくても、前回と違う人に投票しても、大丈夫。
完全に意見が同じ人はほぼいないから、だれが最も自分の考えに近いかを考えてみよう。

情報の集め方

① 選挙公報

投票日の2日前までに家に届くチラシ。立候補している人の
プロフィールや政策(国やまちづくりの方針)がまとめたのっているよ。



② 政見放送

立候補者がテレビやラジオで意見を伝える放送。
文字だけでは分からない、その人の雰囲気わかるよ。



③ 街頭演説

駅前などで立候補者が演説しているよ。
じっくり話が聞けるし、直接本人に質問することもできるよ。



④ 立候補者のホームページやSNS

実現したいことがまとめて書いてあることが多いよ。



⑤ ボートマッチ

アンケートに答えると、自分の考えと近い立候補者や
政党を教えてくれるよ。



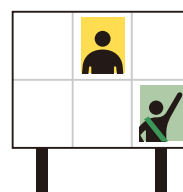
⑥ ニュース、新聞

選挙に関するいろいろな情報を知ることができるよ。



⑦ 選挙ポスター

街に選挙ポスターがはられたら、もうすぐ選挙があるってこと。
ポスターに書いてある内容で特徴やちがいがわかるかも。



どうひょうさき き かた れい

投票先の決め方の例

1 政策で決める

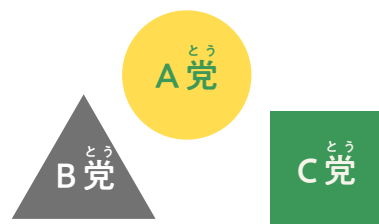
立候補者はどんな政策(国やまちづくりの方針)を話しているかな。
あなたにとって、だれかににとって大事だなと思う政策はあるかな。



わたし
私は〇〇を
おこな
行います！

2 政党で決める

いろいろな政党がある中で、どの政党が
あなたの考えに最も近いかで選んでもOK。
※政党については「06政党って何？」へ



3 どんな人かで決める

年齢、性別、出身地、仕事、経験をみて、
親しみを持てる人に投票してもOK。



4 その他

①～③以外の方法で決めても、
時間がなくて調べきれなくても大丈夫。



よく分かってないから投票しない方がいい、なんてことはないよ。
投票に正解はないし、この社会を作っているのは
「誰か」じゃなくてわたしたち。投票する権利がある人は、

あなたの「こうなったらいいな」を
投票で届けてみよう。

